



よねざわ学アカデミー設立

あなたも^あ開けよう！米沢の宝箱

よねざわ学アカデミー設立記念講演会は2月5日（土）置賜総合文化センターで、講師に安部三十郎米沢市長を迎えて行われました。長井市や川西町、遠くは仙台市からも、吹雪のなかにもかかわらず、73名の参加がありました。

期待される地域学

安部市長の講演では、まず「地域学」としての「よねざわ学アカデミー」が一般市民の中から立ち上がってきたことに、大きな喜びと期待をしていることが述べられました。そして、よねざわ学アカデミーのめざすところは、「米沢」のふるさと再発見であり、生きる道を見出していくために重要なことであるという指摘もいただきました。地域を発展させていくためには、地域の歴史を学び、その地域のすぐれている点を伸ばしていくと共に、なぜそうなっているのかということ認識する大切さを、具体的な経験をもとにして話されました。

ふるさと再発見をみんなのものに

よねざわ学アカデミーは、「米沢らしい・・・」「米沢だから・・・」といえるすべての事からについて、自分で「知りたいこと」「勉強したいこと」「広く知らせたいこと」を、調べて・学び・まとめて・発信し、共有の財産とします。米沢に関することならなんでもかまいません。



“あなたの知りたい”を応援します。個人でもグループでも活動することが出来ます。まとめたものは、アカデミーが設定する場で発表も可能ですし、学校などでは副教材として使うことも有り得ると思います。せっかくまとめた事柄は、あなただけのものとせず、米沢の財産として残しましょう。

講演会終了後のアンケートの結果によると、今回の講演内容について「大変よかった」と「良かった」を含めて84%になりました。また、よねざわ学アカデミーの活動に興味があり、参加したいという人が74%にも達したことは、米沢を思う深い気持ちの表れといえましょう。

アカデミーのお申し込み・お問い合わせなどについては、米沢鷹山大学本部にどうぞ。



鷹山大学 ご利用のみなさまの声

ヒューマンメンタルヘルス研究所「あこ〜る」

スローライフセミナーに参加して

受講生 山口 裕美

新聞で「スローライフ」の記事を読み、興味を持ち、セミナーに参加しました。

セミナーは、全五回で、先生の講義や実践的な指導も交え、「スローライフ」の意味や生活について学びました。

「スローライフ」とは、文字通り、ゆっくりのんびりした生活という意味です。講義の中で印象的だったのは、日本の古典文化（能や茶道等）は「間」の文化であり、ゆったりとした生き方が、人の本来の心の豊かさを育む、という内容で、日本人は、遙か昔から、「スローライフ」を大切に生きてきた事を、改めて知った思いでした。

楽しく参加させていただきましたが、今後の参考までに申し上げれば、講義中、前回のふりかえりの時間はもったいない感もありました。なぜならもっと学びたい一心でしたので。人として大切な事、心掛けたい事、色々と教わりました。御講義ありがとうございました。



一生懸命ついでいいですね!

愛宕公民館 親父の雑学教室

「親父の雑学」を受講して

受講生 井田 周一

平成 15 年度は「親父の料理講座」、平成 16 年度は「親父の雑学講座」を受講しました。

秘湯をめぐって歴史を学んだり、また、地元米沢の食材にて原方そばを打ったり、遠山カブ汁の料理をしたり、と貴重な体験が出来ました。

人には、それぞれ向き不向きがあるように、私には、上手な料理は無理ですが、基本を覚えることが出来ました。（作るだけなら何でも出来るぞ）

受講生の要望にて平成 17 年度も「親父の雑学講座」が継続されると聞いておりますが、事務局の発案にて、ますます幅広い分野の「親父の雑学講座」を学び、生きている喜びを演説したいと思っております。



米沢マナビスト塾 わいわい講座

つる細工講習会に参加して

受講生 鷹山大学運営委員 佐藤陽子

わいわい講座につる編みの講習会があるのは知っていましたが、日曜日で 1 日となると家を留守に出来ないのではないかと思います、受講は断念しようかと思っていたのですが、お誘いを受け、行くことにしました。主婦が自分磨きに出かけるのは容易なことではありませんね。行ってみたら、男性の方が数人いらっしゃったのには驚きでした。材料費だけの格安さで学べたので驚きました。

鷹山大学に感謝です。家族の協力も手伝って幸せなひと時でした。



親父の雑学・料理部門を受け持って

講師 木村 光世

以前から男性も厨房に入り、大いに料理に参加し、健康で楽しい人生を送ってもらいたいものと思っていました。そんな折、愛宕公民館で、すてきな親父さん達と料理を作る機会に恵まれました。てきぱきとさわやかにこなしていく様は、さすがに実社会で活躍された男性だからこそと感心致しました。調理後の反省と賞賛の入り交じった試食会も大変楽しく、もっと多くの方に参加してもらいたいものと思いました。

地産地消に基づき大変よい企画でした。すばらしい米沢の食文化を永く後世に伝えていきたいものと思っております。

米沢中央高校 ENGLISH 講座

「キッズ・イングリッシュ」を受講して

北部小三年近藤達也の母 近藤由里子
米沢中央高校でこの講座を受講して、今春で5年目になります。

高校内の快適なホールを開放して英語の先生方が直接ご指導下さるレッスンは、明るく活気あふれる雰囲気の中、楽しみながら英語を身につけられ、子ども達も親もとても喜んでいきます。

「チビッコ音楽祭」や米沢中央高校学園祭で発表会をしたり、また、クリスマスパーティも毎年趣向を凝らした内容で、どちらも大好評です。A.L.Tの先生と触れ合う事で、子ども達の国際感覚も育ってきているように感じます。

子ども達が楽しみに通っているのも、それが英語学習を続けるコツだと先生方には感謝しています。



WAC 米沢き・ら・ら おり紙講座

鷹山大学に講座を開設して思う

講師 保刈美智恵



中高年者を対象にした「おり紙大学」を鷹山大学に開設させていただいて「学びの輪」が地域に大きく広がりました。鷹山大学は、

- ① 多くの市民に情報をお知らせできる。
- ② 市民として多くの情報を得ることができる。
- ③ 自分好みの講座を選び学ぶことができる。

など素晴らしいことが沢山あります。

米沢市民の「学びの場」、「交流の場」として、今後ますます大切な役割を果たすものと期待しております。

世界に羽ばたけ、元気な子ども達

米沢中央高等学校キッズスタッフ

水曜日の放課後4時近くになると子ども達がワイワイとやって来る。園児と児童の声が響くと高校現場は一気に和んだ感じになる。

「ハロー」とマーニさん(先生)の大声が皆を迎えると一斉にそれに上回る子ども達の「ハロー」が響く。KIDS ENGLISH in 中央の始まり。

幼少より生の英語に触れさせたいとの願いに何とか応えたいと五年前に立ち上げた。参加者の実に40%は「鷹山大学ガイドブック」を見て申し込んできた。鷹山大学に負う所大である。

九里学園 憲法講座



「憲法講座」を受講して

受講生 高橋トミ子

世界の賞賛の的で、誇るべき日本国憲法を変えようとする動きが最近あからさまで。無意識ではいられず活動する中、憲法を正しく理解もせずの良いのかと思い始めた頃、この講座を知り受講しました。タイムリーな話題の中で、憲法の役割や問題点を、わかりやすく説明して下さいます。一方的な講義と違い、受講生同志での討論も。私見を述べるという事は、難しくも重要な事です。学びそして思考する事の大切さを痛感しました。

私も一緒に楽しんでいます

講師 九里廣志

憲法論議がかまびすしい中、憲法に関わる事とは何かを知り、どんな視点で捉えるかを考える事はとても大切と思い、この講座を開いています。参加者たちは、事象に対しての考えは色々ですが、「憲法の何が話題になっているのかを知りたい気持ち」をいっぱい持っていらっしゃることは共通で、時間が来ても論議が続く事もしょっちゅうです。私も自分の知らない時代の事など、ご年配の受講生の方からお聞きできるのが楽しみです。一緒に学んでいます。



サークル紹介



藤本流三味線教室

年齢を問わず、簡単に覚えられます。譜面も分かりやすく初心者でも大丈夫。頭も手も使うので健康にも大変良いと思います。チントンシャンと三味線を通して日本文化にふれてみましょう。

なかなか粋ですね。

連絡先：23-1950 渡辺山千代



おもしろ温泉シリーズ(5) 嬉野温泉

うれしのおんせん



松谷忠和(湯めぐり健康案内人)

私の好きな町に、佐賀県嬉野町がある。ここは、有明佐賀空港から、車で約1時間のところにある。私は縁あって、現在「嬉野町ふるさとアドバイザー」をしている。温泉の他にはお茶・陶器等が有名です。

嬉野温泉は宿泊、日帰り利用できる旅館・ホテルは33軒。泉質は「ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物質」。この泉質は、重曹泉に分類され、美肌効果の代表格です。町では、お湯に入ると全身がつるつるになる「日本三大美肌の湯」としてPRしている。この地方へ出張や旅行のときは、ぜひ嬉野町を訪れてほしい。嬉野町の方々にも、米沢に来て頂きたいと思っている。

発行：米沢鷹山大学本部
マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池3-1-14
置賜総合文化センター4階
TEL 21-6111(内線 6423)
FAX 21-6020

ホームページアドレス
<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>



ラウンドダンス愛好会

すてきな映画音楽が流れる中、原先生のおっしゃる「クイッククイックスロー、シャドーウイル、シェイクハンド」などの言葉に合わせてステップを踏む皆さん。今初めて聞いた音楽とは思えない程、華やかに優雅に踊っていらっしゃいます。二人一組で踊りますが、曲の途中でも次々とお相手を変えています。

Q. 見た目は社交ダンスと同じ様なのですが?

A. 社交ダンスと違って、音楽にあわせて指示が出ますので、そのとおりに踊ります。ステップや動きには名前がついていて、踊りながら覚えられます。お相手の心配がありませんし競争がないので、健全であると思います。

「体操のつもりで60才からはじめました。」という方や、「交通事故にあったとき、ラウンドダンスに復帰しようがんばりました。」とおっしゃる82才という方もいらっしゃいました。生きがいになっているのですね。この日一番若い方は54才ということです。

社交ダンスに興味がありながら、一步踏み出せない方にお勧めです。

い つ：木曜日 19:30~21:30

連絡先：原 (23-4567)

鷹山大学本部からのお知らせ

- 前号で募集した「市民おもしろなカレッジ」、来年度前期15講座が決定しました。
- 平成17年度「まちづくり出前講座」メニューは全部で56講座です。職場で、町内会で、サークル等でぜひご活用下さい。
- 平成17年度鷹山大学ガイドブックにたくさんの情報をお寄せいただき、誠にありがとうございました。上記の「市民おもしろなカレッジ」、「まちづくり出前講座」とともに、情報満載のガイドブック、ただ今急ピッチで作成中です。新年度4月1日の広報とともに、皆様のお手元にお届けいたします。どうぞお楽しみに!!

